

Book Review



このインプラントなに？

他医院で治療されたインプラントへの対応ガイド

築瀬武史・村上 弘・江黒 徹・竹島明道・
野村智義・溝口 尚 編著

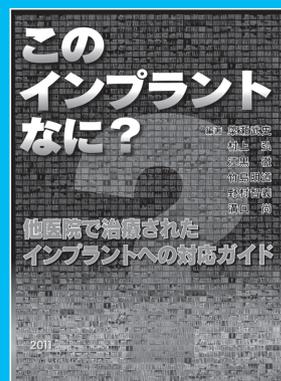


Reviewer

塩田 真

(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
インプラント・口腔再生医学分野)

A4判変, 244頁
定価 10,500円
(本体 10,000円+税 5%)
医歯薬出版刊



待望の一冊という言葉が本書にはふさわしい。世にインプラント治療の行い方を説いた本はあまたあるが(筆者もその著者の一人ではあるけれど)、インプラントに困ったときの、それも他人が行ったインプラントの後始末で困り果てたときの救いとなるこの本こそ、われわれは待ちわびていた。

他院で埋入されたインプラントにかかわらずをえなくなったとき、今までは経験に任せてそれらを識別していたが、これだけインプラントの種類が多くなると、経験と勘だけでそれを見分けるのは至難の業である。しかし、本書に従えば、他院で埋入されたインプラントの種類を一発でわけなく当てられる。もちろん埋入した医科医師への問い合わせと確認は必須であるが、いち早く当たりをつけられることは便利このうえない。また、問い合わせが思うように進まないこともままある。

本書には109種類のインプラントが取り上げられている。しかし本書の特徴は、掲載したインプラント数の多さもさることながら、インプラントのX線像がただ掲載されているだけでなく、ほぼすべてのインプラントに対して、実際に口腔内で機能している状態でのX線写真が掲載されていることにある。

これらの写真には、アバットメントとインプラントの接合の仕方、アバットメントスクリューのインプラント内への入り込み方、上部構造の装着具合などがはっきりと呈示されており、問題となっている症例との対比がスムーズかつ正確に行える。また、類似したインプラントとの違いがわかりやすかつ確実に解説されている。これによって各インプラントの特徴が理解でき、身元探しが容易に行えるわけである。これだけのインプラント症例を網

羅した収集能力は、全国的な広がりをもつ日本歯科先端技術研究所の力を結集したものと脱帽せざるをえない。

本書はインプラント図鑑としても大きな価値をもっている。インプラント埋入時の初期固定性を向上させるためや、顎骨内への効率的な応力分散を図るために各インプラントメーカーとも形態に工夫をこらしているわけだが、本書をめくるだけでそれらの違いが手に取るように理解できる。最近はやりのプラットフォームスイッチタイプのインプラントも、X線画像での明瞭な現れ方の違いが実感できる。したがって本書はただ他院で埋入されたインプラントの対応に役立つだけでなく、インプラントの知識と理解を深めるための利用にもおおいに優れている。

本書は実用書として唯一無二であり、各歯科医院に必携の一冊と言ってもいいだろう。